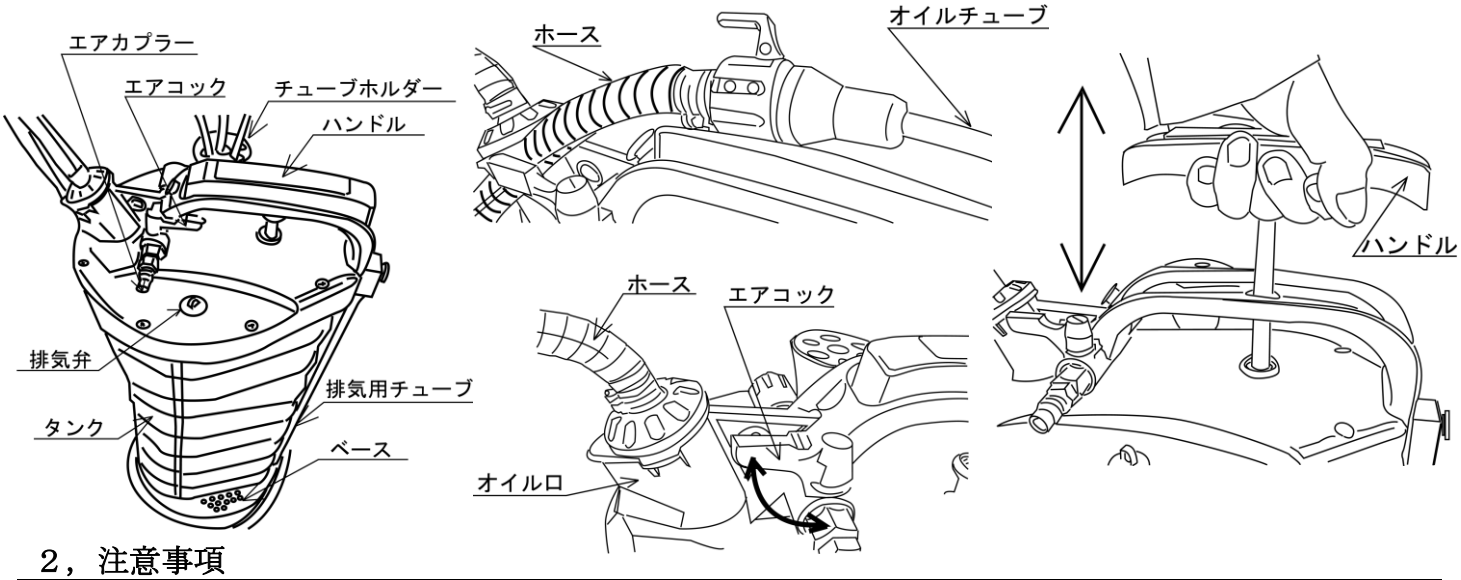
2015.4

# 取扱説明書
## オイル・チェンジャー
## 品番：＃３７３２３０００　型式：Ｐ１０１１Ａ

## １，使用方法

①エンジンオイルを抜く車両を水平な場所に駐車し、ミッションをニュートラルかパーキングに入れて、サイドブレーキを掛けて下さい。
②車両のエンジンを始動させ、エンジンオイルが６０度程度になるまで暖気運転して下さい。その後、**エンジンを止めて**下さい。
③車両のオイル注入口の蓋を開け、車両に合った長さ（オイルパン底部に届く長さ）のオイルチューブをホースに接続して下さい。
④ホースの他端を本機のオイル口に挿入して下さい。
⑤エアで使用する場合は、エアカプラーにコンプレッサーを接続して下さい。
⑥エアコックをエアカプラーと平行になる様に回して下さい。
⑦オイルチューブを車両のオイル注入口に奥まで挿入して、オイルを吸入して下さい。
⑧手動で吸入する場合は、オイルチューブを車両のオイル注入口に奥まで挿入して下さい。
⑨ベースを足で押さえながらハンドルを数回上下させると、オイルを吸入する事が出来ます。オイルの吸入が始まるとタンク内の負圧によって、ハンドル操作をしなくてもオイルを吸入する事が出来ます。オイルの吸入量が減れば再度ハンドルを操作して下さい。
⑩途中で吸入を止める場合は、排気弁を上方向に持ち上げて下さい。タンク内部の負圧が抜けてオイル吸入が止まります。エアで吸入している場合は、エアコックをエアカプラーに対して垂直になる様に回して下さい。
⑪タンク内がオイルで満たされると、⑩の操作をして、オイルの吸入を停止させて下さい。
⑫オイル吸入後は、車両のオイル注入口からオイルチューブを抜き、本機のオイル口からホースをはずして下さい。
⑬本機を傾けて、タンク内部のオイルをオイル口から抜いて下さい。
⑭付属のオイルチューブは使用後、チューブホルダーに保管して下さい。




## ２，注意事項

**⚠警告**（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

①**本機の使用空気圧は５００～８００ｋＰａ（５．１～８．１６ｋｇ／ｃｍ²）です。**規定範囲外の空気圧で使用しないで下さい。
②**オイルが熱い場合は、チューブやホース、タンク等が熱くなります。**耐熱性の手袋等をして、慎重に作業を行って下さい。
③可燃性物質や、火気のある場所では本機を使用しないで下さい。

**⚠注意**（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①子供の手の届かない場所で使用、及び保管して下さい。
②直射日光の当たらない場所で保管して下さい。
③本機を保管する場合は、必ず、ホースやオイルチューブ、タンク内に残ったオイルを完全に抜いて下さい。
④本機はエンジンオイルとギアオイル（ＳＡＥ粘度１４０まで）の交換作業に使用する機器です。その他の用途には使用しないで下さい。
⑤車輌からオイルを抜き取る場合は、必ず、**車のエンジンを止めて**下さい。
⑥長距離走行後等、オイルが熱い場合は使用を控えて下さい。
⑦本機は汎用タイプの為、車種によっては使用出来ない場合があります。ご了承下さい。
⑧オイルの温度、粘度により、吸入時間は異なります。
⑨ハンドル操作での吸入作業時で、タンク内に負荷が掛かっている時は、ハンドルを一番下まで押し下げても少し浮き上がります。
⑩排気用チューブを持って、本機を移動させないで下さい。又、負荷を掛けないで下さい。破損の原因になります。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００